

発 注 仕 様 書

1. 委託名：令和3年度 内閣府 地方創生推進交付金
阿蘇竹田ブランド観光ガイドブック作成業務委託

2. 場 所：熊本県阿蘇市及び大分県竹田市

3. 背 景：

熊本県阿蘇市及び大分県竹田市は、九州の中央部に位置し、阿蘇くじゅう国立公園をはじめ、日本百名山である阿蘇山、くじゅう連山、祖母山に囲まれた自然豊かな地域であり、温泉、歴史、文化など、豊富な観光資源を有する地域である。これまで農業と観光を基幹産業としてきた地域づくりを進めてきたが、都市部への若年層の流出による主産業の担い手不足は深刻な状況となっている。

また、多くの尊い人命が奪われ、生活基盤や産業基盤に甚大な被害をもたらした平成28年4月の熊本地震及び同年6月の豪雨により九州の横軸を結ぶJR豊肥本線は、肥後大津駅から阿蘇駅間が不通となっていたが、ようやく令和2年8月に全線復旧を果たし、移動の利便性が回復された。それまでは、地域住民の生活基盤となる交通手段としても困難をきたしており、さらには当該地域の観光を支えていた国内外旅行者の入込客数が極端に落ち込み、近隣自治体への経済的影響は計り知れないものであった。

JR豊肥本線の全線復旧という明るい兆しの中、新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、観光業界をはじめ様々なところで影響を与えている状況にある。収束の一途を辿っているとは云え「新しい生活様式」に対応した受入れ環境が求められる。

4. 目 的：

平成28年熊本地震による災害以降、分断されていた九州横断の大動脈JR豊肥本線が全線開通し、本年度は観光特急列車等も定期運行され、好評を博している。また、昨年度までの取組みの結果、JR駅等を拠点とした二次交通サービスも、実証段階からビジネス化の段階を迎えている。また、計画期間の最終年度である本年度は、県境・市境を越えて、JR豊肥本線と二次交通を組合せた、低環境負荷で安全・安心な「新しい旅のスタイル」を具体的な滞在プランに組み込み、「阿蘇竹田」としてプロモーションを行い、誘客につなげる必要がある。

JR豊肥本線は、世界最大級の阿蘇カルデラを横断し、阿蘇五岳の景観や阿蘇火砕流地形を眺めることができ、全国に数少ない高低差を走るためのスイッチバックも有している。当該エリアには、JR豊肥本線の赤水駅、市ノ川駅、内牧駅、阿蘇駅、いこいの村駅、宮地駅、波野駅、滝水駅、豊後萩駅、玉来駅、豊後竹田駅と11箇所が観光起点として存在している。

このような特徴を踏まえ、JR豊肥本線を列車で旅する醍醐味や魅力、各駅で降りてからの旅の楽しみ方の情報などを盛り込んだガイドブックを作成する。ここでは、阿蘇竹田のブランディングを踏まえ、これまでに開発してきた滞在プログラムの情報や新たな受入れ態勢の在り方も紹介するなど、滞在交流型観光の情報提供を行い、誘客促進と滞在機能強化を図ることを目的とする。

5. 内 容：

阿蘇竹田ブランド観光地域づくり公式ガイドブックの制作・発行

仕様：A4判カラー、32ページ程度、中綴じ

言語：日本語版、英語版、中国語（繁体字）版

※データは、阿蘇竹田ブランド観光地域づくり公式HPに掲載すること。

6. 工 期：

契約締結の日から令和3年12月28日まで

7. 成 果 品：

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1) 日本語版ガイドブック（紙媒体）： | 20,000部 |
| 2) 英語版ガイドブック（データ納品）： | 1式 |
| 3) 中国語版ガイドブック（データ納品）： | 1式 |
| 4) CD-ROMまたはDVD-ROM： | 3部 |

8. 注意事項等：

- 1) 本業務を履行するうえで知り得た情報等については、第三者に開示または漏洩しないこと。
- 2) 本業務の成果物となる報告書および二次的著作物については、阿蘇竹田ブランド観光地域づくり推進協議会（熊本県阿蘇市及び大分県竹田市）に帰属するものとする。
- 3) 本業務の実施にあたっては、関係する法令および諸規程を遵守すること。
- 4) 本仕様書に記載のない事項であって、本業務の遂行に必要と認められる事項が発生した場合には、監督職員に速やかに協議し、その指示に従うこと。
- 5) 情報媒体の多言語化については、その翻訳の作業過程において、別途第三者によるチェック機能を付加し、より制度の高い、そして信頼性のある情報を提供する。
- 6) 限られた期間内での作成であるため、既存の資料の活用等については可能とするが、著作権等の確認を得たうえで、使用の許可を認めるものとする。